

第Ⅱ章 与条件等の整理

1. 既定計画

本再生計画の策定にあたっては、「上野公園グランドデザイン検討会報告書」及び「上野恩賜公園再生基本計画」の内容を踏まえて検討を行う。それぞれの概要は以下のとおりである。

(1) 上野公園グランドデザイン検討会報告書（平成 20 年 9 月）

①目的

上野公園では、江戸、明治から受け継がれてきた独自の伝統や歴史・文化資源、みどりと水の魅力、さらには、我が国を代表する文化施設の集積という高いポテンシャルを活かし、世界に文化・芸術を発信する日本の顔として、国際的にも確固たる地位を築くことが求められている。上野公園グランドデザインは、上野公園の将来像を明確にするとともに、将来像を実現するための方向性と基本施策等を示すことを目的とする。また、上野公園に関わる全ての関係機関が、共通認識の下に、長期的な視点に立った事業の展開を図ることができる総合的な構想とする。

②検討の対象範囲

上野公園グランドデザインの検討対象範囲は、都市計画上野公園（谷中霊園を除く）を中心とし、寛永寺、東京藝術大学、旧岩崎邸庭園、JR 上野駅等、周辺を含む地域についても検討対象とした。

③上野公園の将来像

日本の顔となる「文化の森」の創造

～世界に向けて日本の文化・芸術を発信する拠点づくり～

- 日本の顔としてふさわしい文化・芸術があふれている
- 美しいみどりと水の景観が形成されている
- 国内外の多くの人々が集い、にぎわっている

④「文化の森」の創造に向けた基本的考え方

将来像の実現に向けた基本的考え方を以下のとおりに定めている。

世界に向けた
『文化』の発信強化

魅力あるみどりと
水の空間創出

快適な利用の推進

連携の重要性

上野公園の将来像を実現するためには、公園と周辺地域の各機関が連携、協働し、一体となって取り組むしくみと体制づくりが重要

⑤「文化の森」の創造に向けた施策

将来像の実現に向けた基本的考え方毎に施策の方向を以下のとおりに示している。

施策の方向1 世界に向けた『文化』の発信強化

- ・ミュージアムコンソーシアム（共同事業体）の設立
- ・魅力ある多様な文化イベントの招致・開催
- ・文化施設の充実と展示等活動の強化
- ・文化施設と公園の一体感の創出
- ・歴史資源の保存と活用
- ・情報発信機能の強化

施策の方向2 魅力あるみどりと水の空間創出

- ・「文化の森」の中核となる広場空間の創出
- ・四季折々の表情が楽しめる、明るく魅力ある林の再生
- ・サクラの再生と花見空間の復活
- ・下町情緒が感じられる親水空間の創出
- ・公園内の景観の向上と公園と調和した周辺景観の形成
- ・歴史性を活かした魅力ある景観の再現と創出

施策の方向3 快適な利用の推進

- ・公園の顔となるエントランスづくりとまちとのつながりの強化
- ・回遊性の向上
- ・安全性の向上
- ・公園内サービスの充実
- ・ユニバーサルデザインの推進

⑥上野公園の整備イメージ

上野公園の整備を推進していくにあたり、歴史や現況の特性等を踏まえた「ゾーンとエリア」、「主軸」を設定した。

1) ゾーンとエリア

1 上野の山ゾーン

公園のみどりの中に歴史資源や文化施設が溶け込み、「文化の森」にふさわしい空間が形成されているとともに、文化施設や大学等関係機関の連携により、魅力のある多様な文化を世界に向けて発信するゾーン。

A 竹の台・文化施設エリア

- ・魅力のある多様な文化イベントの開催が可能な「文化の森」の中核となる広場を創出する。

- ・ 明るい樹林地や広場などの屋外空間で気軽に飲食を楽しむことができる場とする。
- ・ 東京都美術館の出入口の新設やアプローチの改善、恩賜上野動物園の魅力を高める正門周辺の整備等により、文化施設と公園との一体感を創出する。

B JR上野駅公園口周辺エリア

- ・ 上野駅公園口からの安全で円滑な歩行者動線を確保し、「文化の森」にふさわしい入口広場とする。
- ・ 周辺施設と一体となった魅力的なプロムナードを形成する。

C 寛永寺清水堂など歴史資源エリア

- ・ 寛永寺清水堂や旧寛永寺五重塔等の文化財、上野の歴史を伝える記念碑等を適切に保存する。
- ・ 江戸図絵等に描かれた寛永寺清水堂から不忍池方面への眺望景観を再現する。

D 桜ヶ丘エリア

- ・ 上野の山で初めて江戸庶民に開放された花見の場所であり、多種のサクラが楽しめる花見の場として復活させる。

E 袴腰エリア

- ・ 上野の山とまちとの重要な結節点としてふさわしい風格ある入口広場とする。

2 不忍池ゾーン

下町文化を守り伝える活動と休息や散策を楽しめる場とするとともに、不忍池から見た上野の山の良好な景観形成を図るゾーン。

C 寛永寺清水堂など歴史資源エリア

- ・ 不忍池畔や弁天堂から見た寛永寺清水堂や上野の山等魅力ある眺望景観を再現する。

F 不忍池エリア

- ・ 不忍池畔で休息や散策を楽しめる園路や広場を設ける。
- ・ 蓮見を楽しめる親水性を高めた池畔とするとともに、蓮の生育環境や水質の改善を図る。

2) 主軸

① 袴腰と東京国立博物館を結ぶ軸

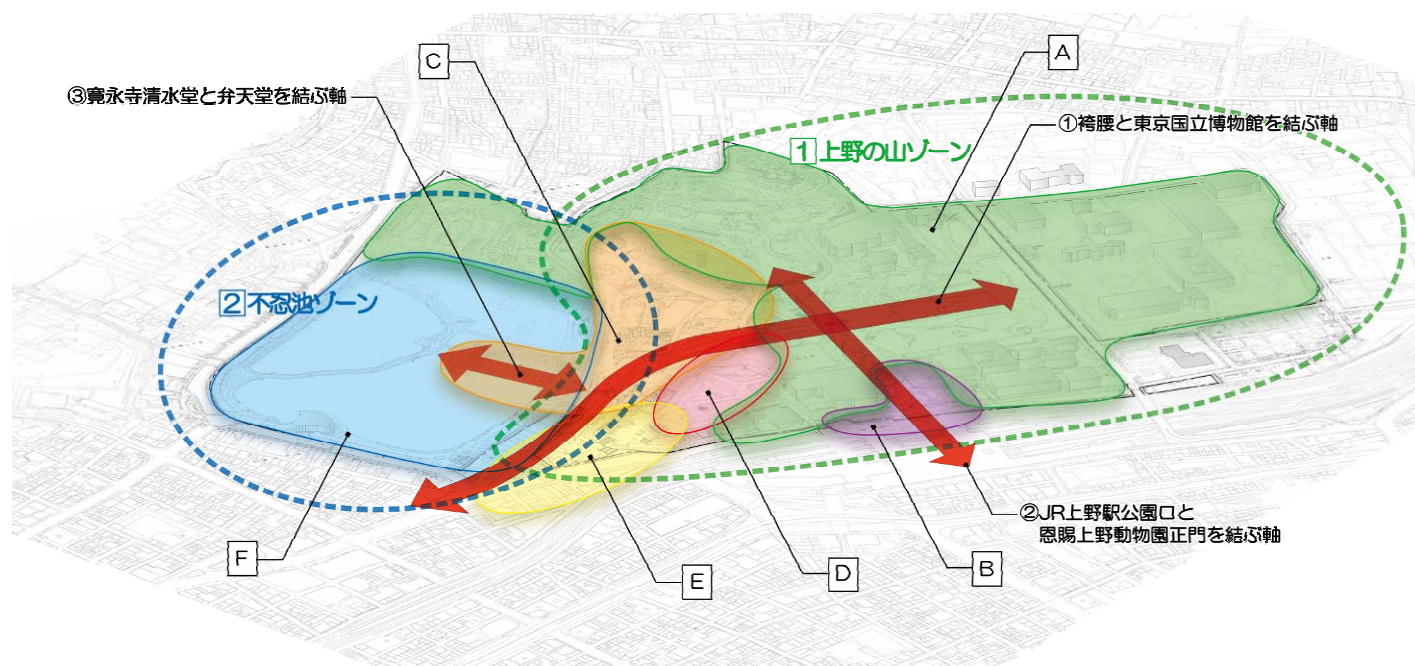
桜並木の再生を図るとともに、竹の台広場から見る東京国立博物館本館のビスタを形成し、より魅力のある景観の形成を図る。

② JR 上野駅公園口と恩賜上野動物園正門を結ぶ軸

JR 上野駅からの来訪者を上野公園の中核である竹の台広場や各文化施設にスムーズに誘導するとともに、周辺施設と一体となった魅力的な景観をもつプロムナードの形成を図る。

③ 寛永寺清水堂と弁天堂を結ぶ軸

寛永寺清水堂と弁天堂を結ぶ軸線を中心として、歴史的な景観の再現を図る。



■ゾーン

- ① 上野の山ゾーン
- ② 不忍池ゾーン

■エリア

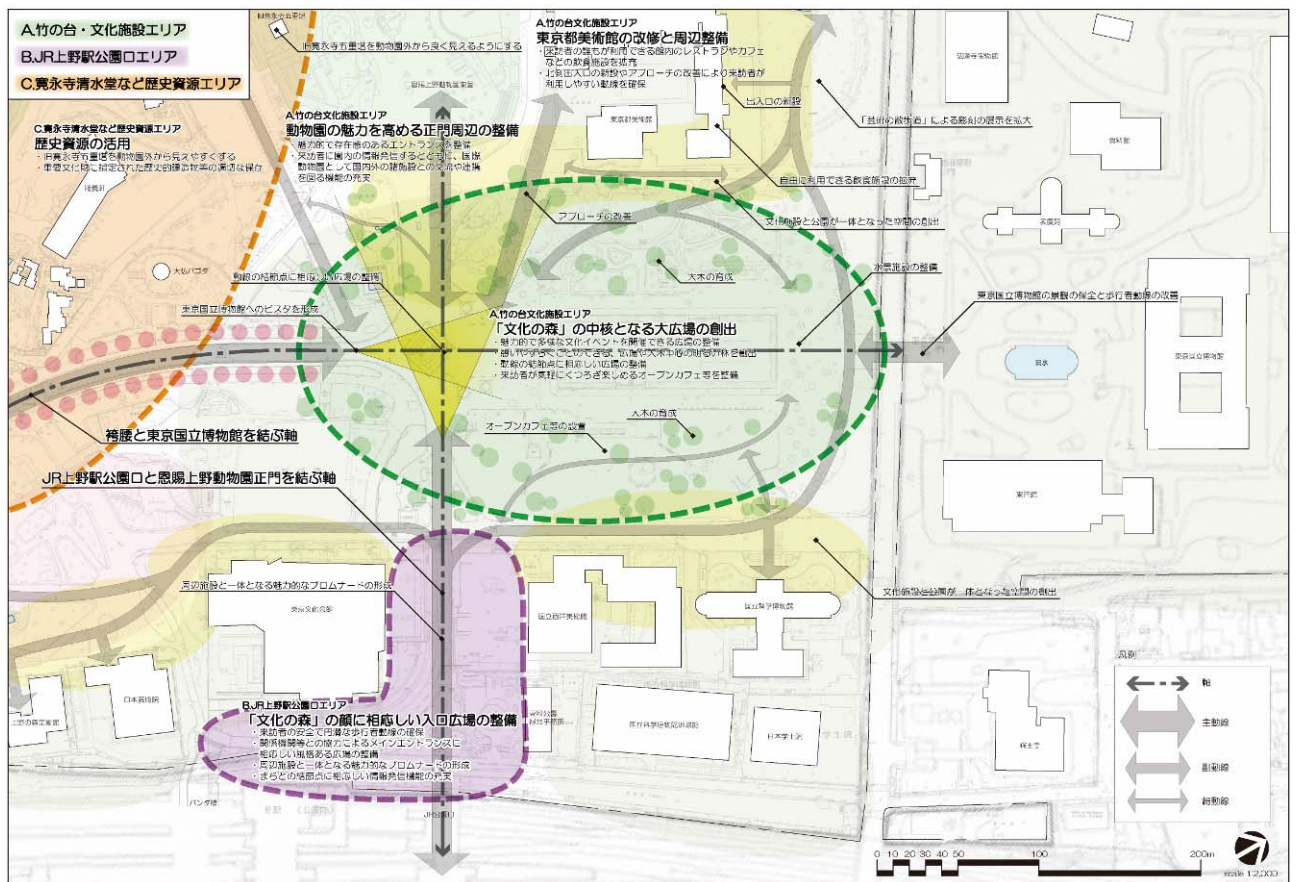
- A 竹の台・文化施設エリア
- B JR 上野駅公園口周辺エリア
- C 歴史資源エリア
- D 桜ヶ丘エリア
- E 袴腰エリア
- F 不忍池エリア

■主軸

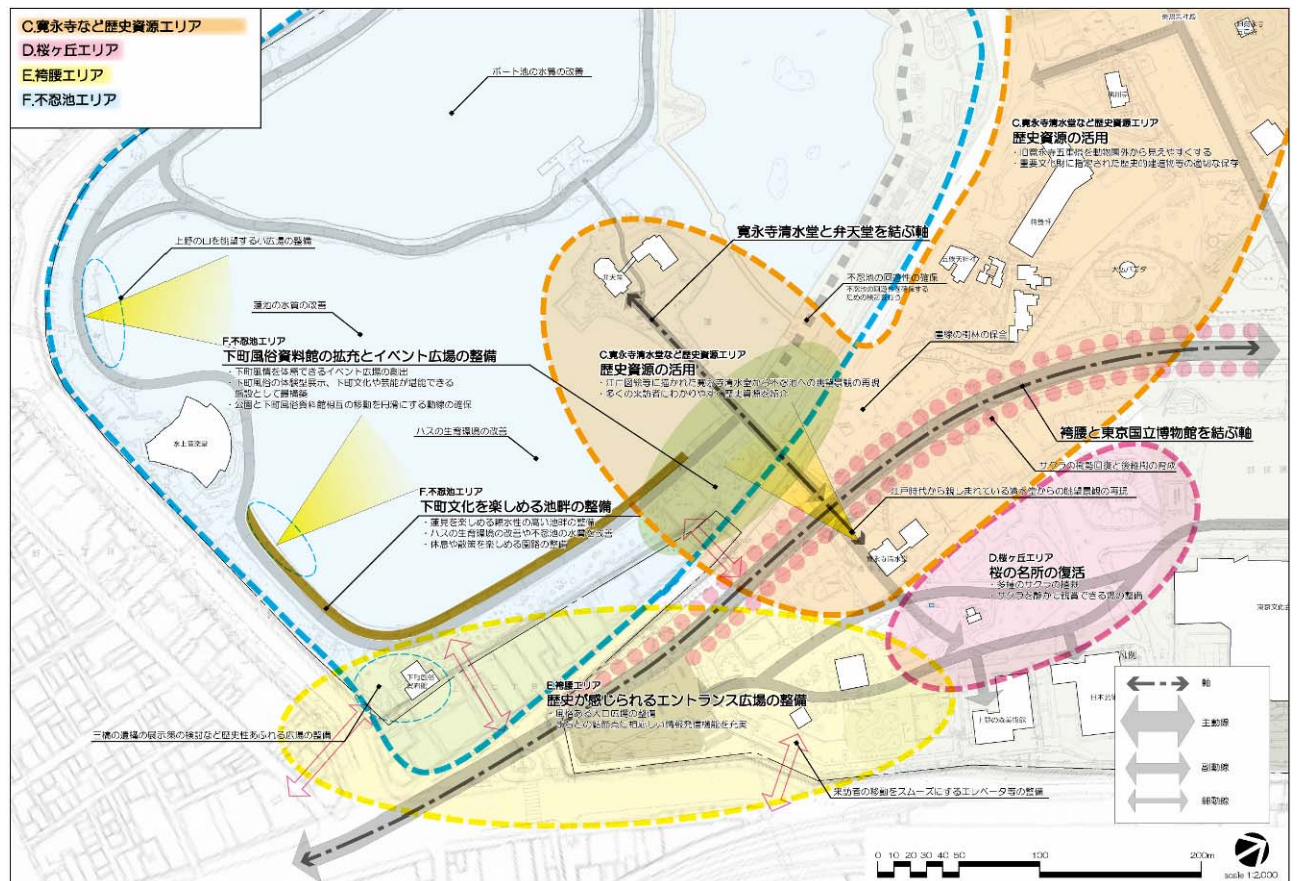
- ① 袴腰と東京国立博物館を結ぶ軸
- ② JR 上野駅公園口と恩賜上野動物園正門を結ぶ軸
- ③ 寛永寺清水堂と弁天堂を結ぶ軸

図：「ゾーン」と「エリア」及び「主軸」

⑦エリア別整備イメージ図



図：上野の山ゾーンを中心としたエリアの整備イメージ図



図：不忍池ゾーンを中心としたエリアの整備イメージ図

(2) 上野恩賜公園再生基本計画（平成4年3月）

①目的

開園以来、約 120 年を経過している公園のポテンシャルを活かしつつ、周辺再開発計画との整合性の確保と、経年変化により不適切となってしまった部分の活性化を図り、公園全体の機能の見直しを行い、魅力的で市民に親しまれる都市公園の再整備計画の策定を目的としたもの。

基本構想により導き出された、歴史的公園の再生のあり方を踏まえ、上野恩賜公園らしさを発揮するために「自然性」、「歴史性」、「文化性」の潜在的な可能性を引き出し、より高めていくと同時に、特性に含まれて成立している問題点との調整を図っていくことである。

②課題

1) 既設公園を取り巻く現実的な課題

- ・ 老朽化に対する再整備を図る。
- ・ 経年変化により不適切となった部分に対する活性化を図る。
- ・ 機能面の低下に対する見直し及び向上を図る。
- ・ 利用者へのサービスの不足に対する利便性、サービス機能の充実を図る。
- ・ 管理運営を困難にしている複数の管理主体に対するシステム化を図る。
- ・ 周辺再開発との調整や、整合性の確保を行う。

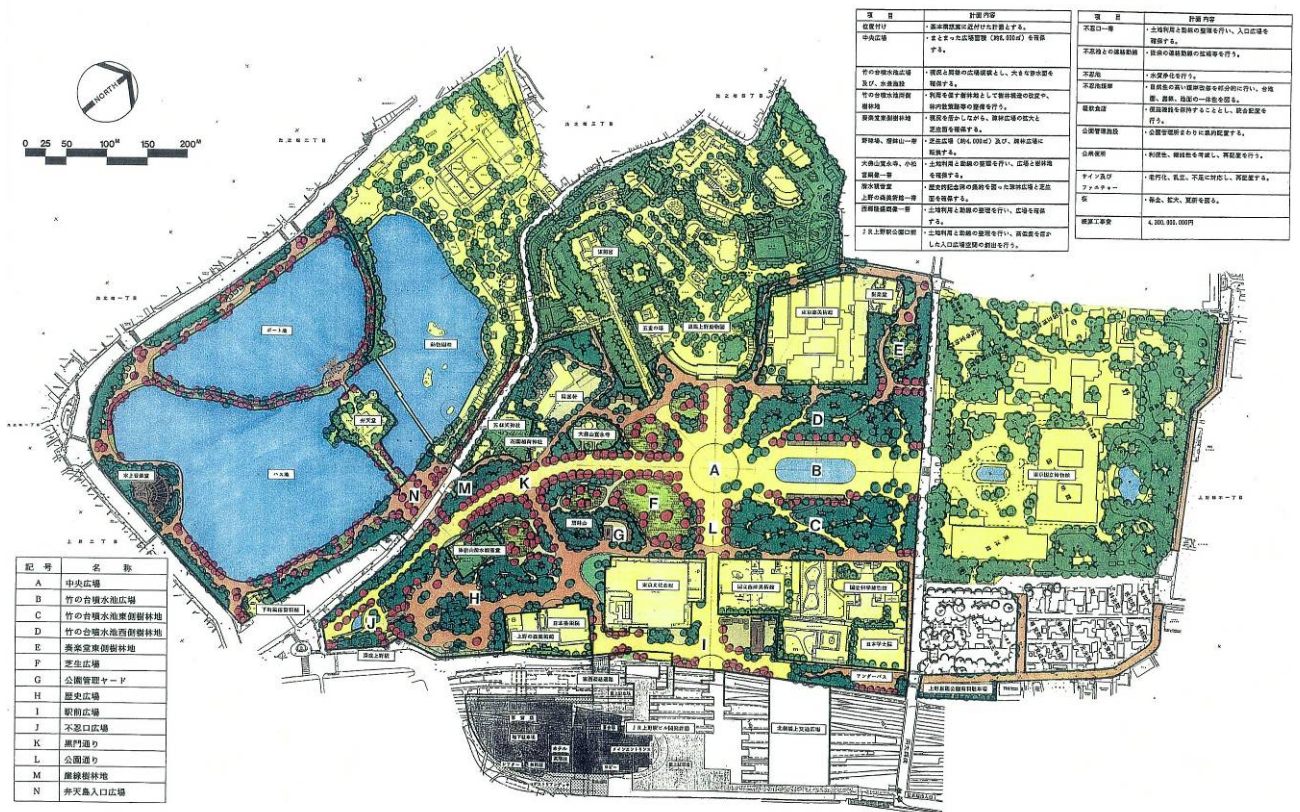
2) 上野恩賜公園らしさを発揮するための課題

- ・ 自然性、歴史性、文化性の良さを引き出すような、土地利用及び、景観計画を行う。
- ・ 花見の名所を継承するために、桜の保全、拡大計画と、老化化に備えた更新計画を立てる。
- ・ イベント空間を確保する。
- ・ 池面と台地面の連続性に留意した計画とする。
- ・ 建築物の導入規制及び、軽飲食店の統廃合と再配置を図り、建蔽率の削減を行う。
- ・ JR 上野駅ビル再開発計画に代表される、周辺関連計画への積極的なはたらきかけを行う。

③基本計画方針

- ・ 上野恩賜公園の持つ空間特性（台地面、池面、崖線を含んだ地形的変化）と、それに伴う植生、水鳥等の棲息を支えている水面を保全し、都市に残された貴重な自然資源を永続的に確保する。
- ・ 歴史に裏付けられた空間特性を保持し、特色ある景観の演出と緑の創出を図る。
- ・ 周辺関連計画を十分ふまえ、オープンスペースの適正かつ、恒常的な利用を取り戻すために、樹林等を含め、再配置計画を行い、空間の活性化を図る。

④基本計画案



図：上野恩賜公園再生基本計画案

⑤今後の課題

計画の検討の過程で残された課題は以下のとおりであり、次の段階以降での検討、調整を図るものとされている。

- 竹の台噴水池の改修について
 - 具体的な施設形態やデザイン等についての検討
- 台地面と不忍池の連絡動線について
 - オーバーブリッジ化計画及び区道のアンダーパス化等についての検討
- 野球場について
 - 移転先の確保、その後の管理運営に係る調整
- 軽飲食店について
 - 公園施設としての飲食機能の位置付け、規模設定等に関する検討
- 公園駐車場について
 - 関連計画との調整を踏まえた機能維持に係る検討
- 関連計画について
 - JR 上野駅ビル開発計画との調整
- 不忍池の水質浄化について
 - 具体的な方策の検討
- 各主要文化施設について
 - 公園全体の管理運営計画やイベント等のソフト面についての調整

2. 現況把握

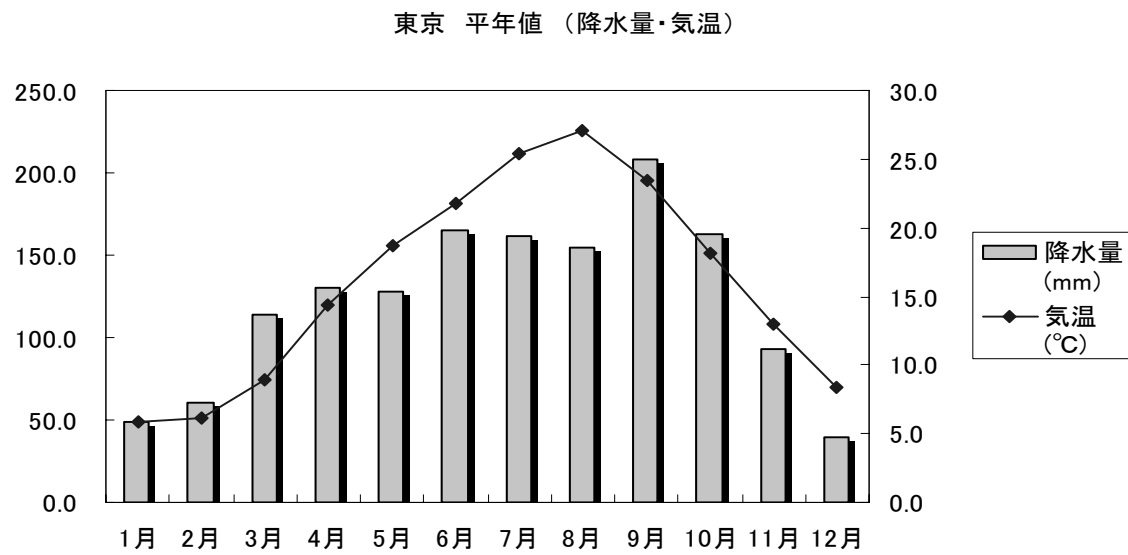
上野公園における現況特性を、「自然的特性」、「人文的特性」、「社会的特性」及び「景観」の視点から、以下のとおりに概要を整理する。

(1) 自然的特性

①気候

上野恩賜公園が位置する東京都の都心における気候概況は、年平均約 16℃、年降水量約 1,460mm で 6 月～10 月にかけて降雨が多い。

風向は、夏季には、南よりの風であるが、それ以外の秋季～春季は北北西よりの風となっている。風速は平均 3.0～4.0m/s 程度となっている。



図：平均気温・平均降水量

表：気圧、降水量、気温、風向・風速、日照時間（平年値）

要素 月	気圧 (hPa)		降水量 (mm)	気温 (℃)			風向・風速 (m/s)		日照時間 (時間)
	現地	海面	合計	平均	最高	最低	平均	最多風向	合計
	平均	平均							
1月	1011.4	1015.8	48.6	5.8	9.8	2.1	3.4	北北西	180.5
2月	1010.8	1015.2	60.2	6.1	10.0	2.4	3.6	北北西	161.1
3月	1011.3	1015.7	114.5	8.9	12.9	5.1	3.7	北北西	159.2
4月	1010.3	1014.6	130.3	14.4	18.4	10.5	3.6	北北西	164.9
5月	1007.8	1012.0	128.0	18.7	22.7	15.1	3.4	南	180.9
6月	1005.2	1009.4	164.9	21.8	25.2	18.9	3.2	南	120.1
7月	1004.9	1009.0	161.5	25.4	29.0	22.5	3.0	南	147.5
8月	1005.8	1009.9	155.1	27.1	30.8	24.2	3.2	南	177.5
9月	1008.6	1012.8	208.5	23.5	26.8	20.7	3.2	北	112.9
10月	1012.3	1016.6	163.1	18.2	21.6	15.0	3.2	北北西	129.9
11月	1014.0	1018.3	92.5	13.0	16.7	9.5	3.2	北北西	141.4
12月	1013.0	1017.4	39.6	8.4	12.3	4.6	3.2	北北西	171.1
年	1009.6	1013.9	1466.7	15.9	19.7	12.5	3.3	北北西	1847.2

※平年値は 1971 年～2000 年までの 30 年間の平均値(気象庁)

②地形・地質

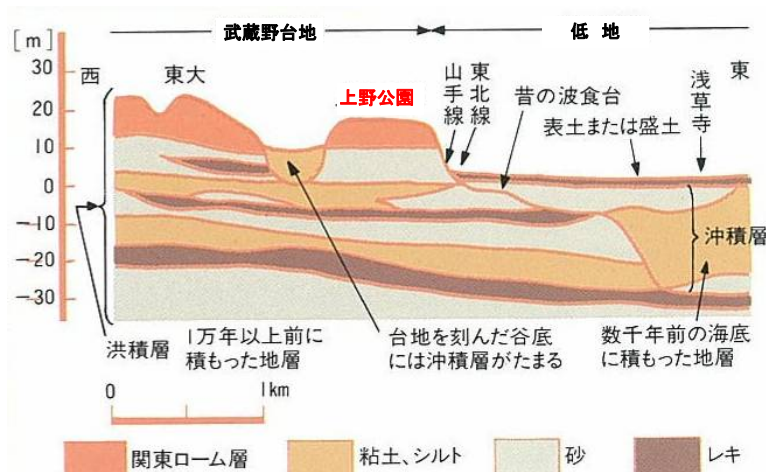
上野公園とその周辺は、地形学上、上野台と呼ばれる武蔵野台地の東端にあたる。武蔵野台地は関東ローム層に覆われ、東部は台地と低地が入り組んだ特殊な形をしている。低地部分は沖積層に覆われている。このことは、数千年前の東京では、今の下町の低地にまで海水が進出し、溺れ谷のようになり、その海底に泥や砂を堆積していたことを示している。

〔参考〕(財)東京都公園協会「上野公園ものがたり」平成 8 年 3 月



図：東京の地形概略図

〔出典〕(財)東京都公園協会「上野公園ものがたり」平成 8 年 3 月
(一部加筆)

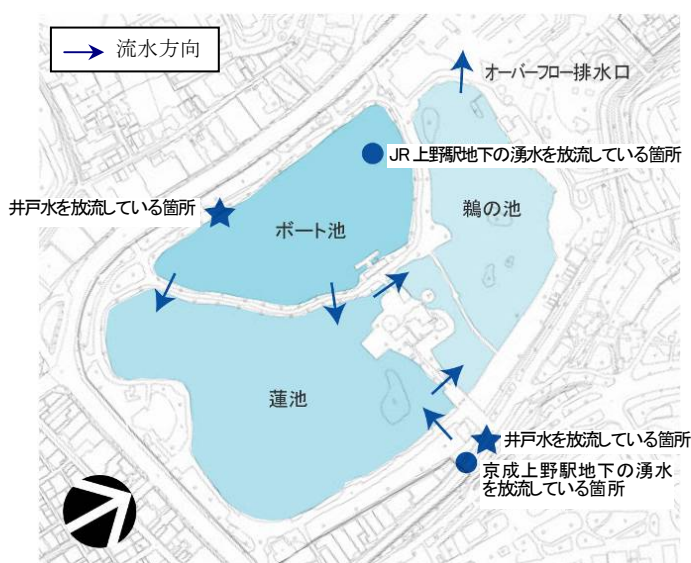


図：上野公園周辺の地形・地質断面

〔出典〕(財)東京都公園協会「上野公園ものがたり」平成 8 年 3 月 (一部加筆)

③水系(不忍池と水源)

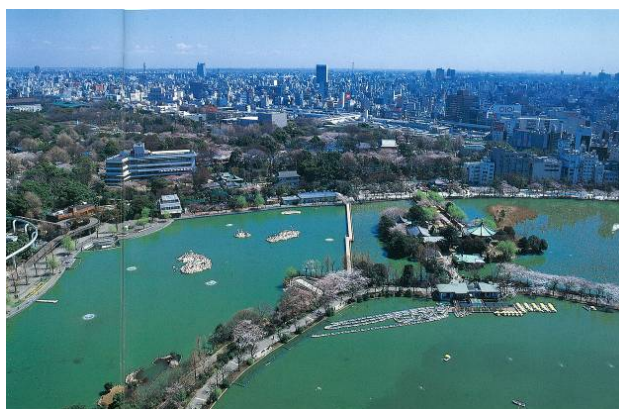
現在の不忍池は、蓮池、ボート池、鶯の池から成り、水源は湧水、雨水、井戸水のみとなっている。湧水は、隣接する JR 上野駅・京成上野駅の地下から湧く水を引き込み、放流している。



図：不忍池における水の流入・流出

表：不忍池の池面積と池水量

	ボート池	蓮池	鶯の池
池面積(m ²)	30,000	55,000	25,000
池水量(m ³)	40,000	55,000	24,000



写真：不忍池(西側より見る)

〔出典〕(財)東京都公園協会「上野公園ものがたり」平成 8 年 3 月

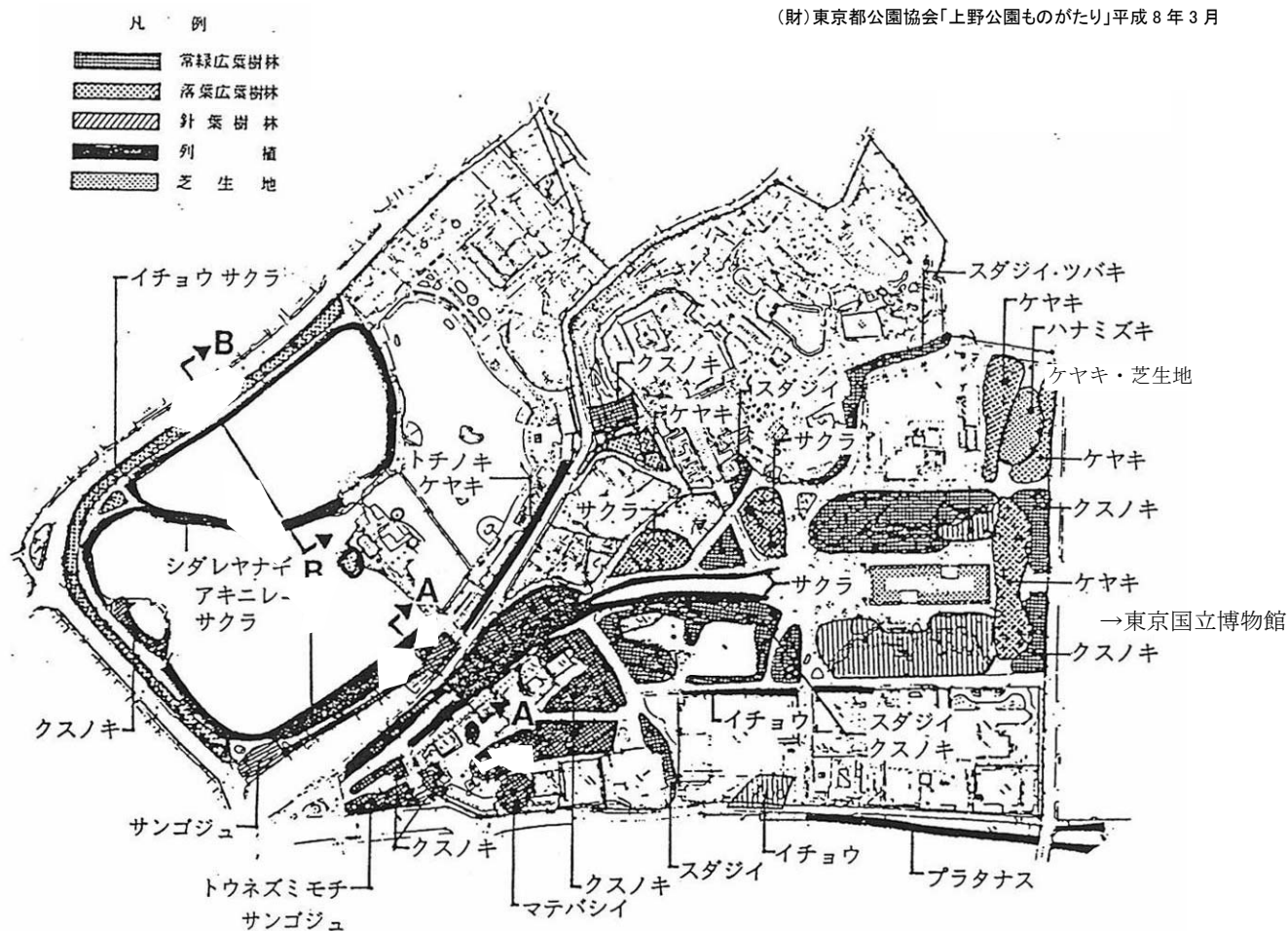
④植生

「上野恩賜公園再生基本設計報告書」（東京都北部公園緑地事務所、平成 6 年 3 月）等によると、上野公園における植生は以下のとおりであり、平成 19 年度に行った現地確認の結果、大きな変化は見られない。

- ・ 上野公園全体としてみると、高木層は、スダジイ、クスノキ、マテバシイ等の常緑広葉樹により構成されている。
- ・ 台地の不忍池側崖線の常緑広葉樹林は、景観的にもすぐれ、沿海地の照葉樹林の主要構成樹種であるタブノキも見られる。
- ・ 台地面の既存樹林は、クスノキ、イチョウ、ケヤキ等の高木が大木化して頭上を覆い、中木、低木として植えた植栽も視線を遮るほど成長している。
- ・ 袴腰から竹の台噴水にかけての園路、不忍池の堤にはサクラ並木が形成されている。現在、上野公園には、都立上野恩賜公園内だけで約 800 本、恩賜上野動物園、寛永寺清水堂、東照宮などを含めると約 1,200 本のサクラが生育している。（平成 19 年度調査より）
- ・ イチョウ、プラタナス、シダレヤナギ等の並木、竹の台噴水北側のクスノキ、東京文化会館のケヤキ、イチョウ等の特徴的な植栽がみられる。

〔参考〕東京都北部公園緑地事務所「上野恩賜公園再生基本設計報告書」平成 6 年 3 月

（財）東京都公園協会「上野公園ものがたり」平成 8 年 3 月



図：上野公園の植生分布

〔出典〕東京都北部公園緑地事務所「上野恩賜公園再生基本設計報告書」平成 6 年 3 月（一部修正）

(2) 人文的特性

①上野公園の歴史

上野の台地は武蔵野台地の東端にあたり、古代より人々の生活の場となっていた。江戸時代には、上野の山全域において東叡山寛永寺の造営が始まり境内が公開されると、上野の山は花見の名所として、不忍池は蓮の名所として賑わいを見せた。戊辰戦争により荒廃した上野の山は、太政官布達により日本で最初の公園のひとつになった。日本で最初の博覧会である第1回内国勸業博覧会が開かれ、美術館・博物館・動物園などの文化施設が集積する今日の上野公園を形づくってきた。

近世の上野公園

(当時は寛永寺境内)

上野の山全体が寛永寺の境内であった様子がうかがえる。

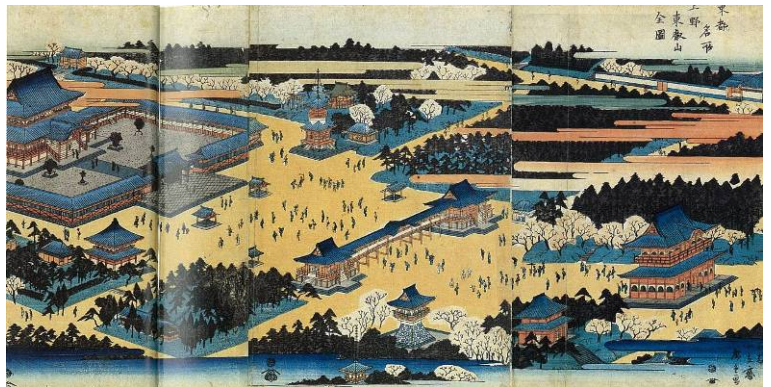


図:歌川広重画「東都名所上野東叡山全図」(個人蔵)

近代の上野公園

東京大正博覧会場の様子。(大正3年)



図:「東京大正博覧会のポスター」(個人蔵)

現代の上野公園

現在の東京国立博物館前と竹の台噴水の様子。



写真:現在の東京国立博物館前と竹の台噴水

②歴史的資源

上野恩賜公園及び周辺地域には、旧寛永寺五重塔や寛永寺清水堂等の重要文化財に指定された建造物がある。最近では、国立科学博物館日本館（旧東京科学博物館本館）が、平成 20 年 6 月に、重要文化財に指定された。また、国立西洋美術館本館は、「ル・コルビュジエの建築と都市計画」の構成遺産のひとつとして、フランス政府等各国共同で世界遺産登録手続きが進められている。

1) 近世の主な歴史的資源

- | | | |
|----------|----------|--------|
| ・寛永寺清水堂 | ・旧寛永寺五重塔 | ・東照宮社殿 |
| ・東照宮明神鳥居 | ・上野大仏 | ・時の鐘 |
| ・弁天堂 | ・天海僧正毛髪塔 | ・お化け灯籠 |
| ・五條天神社 | ・花園稲荷 | 等 |



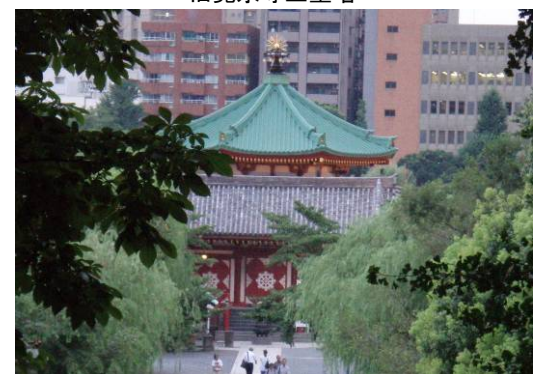
寛永寺清水堂



旧寛永寺五重塔



東照宮社殿



弁天堂 (現在の建物は昭和 33 年 9 月に再建)

2) 近世から近代への転換期を象徴する歴史的資源



西郷隆盛銅像



彰義隊墓所

3) 近代の主な歴史的資源

- ・ 東京国立博物館本館
- ・ 旧東京音楽学校奏楽堂
- ・ 東京国立博物館表慶館
- ・ 国立科学博物館日本館



東京国立博物館本館
(出典: 東京国立博物館ホームページ)



東京国立博物館表慶館
(出典: 東京国立博物館ホームページ)



国立科学博物館日本館

4) 現代の主な歴史的資源

- ・ 国立西洋美術館本館
- ・ 東京都美術館
- ・ 東京文化会館
- ・ 竹の台水景施設



国立西洋美術館本館



東京文化会館



竹の台水景施設

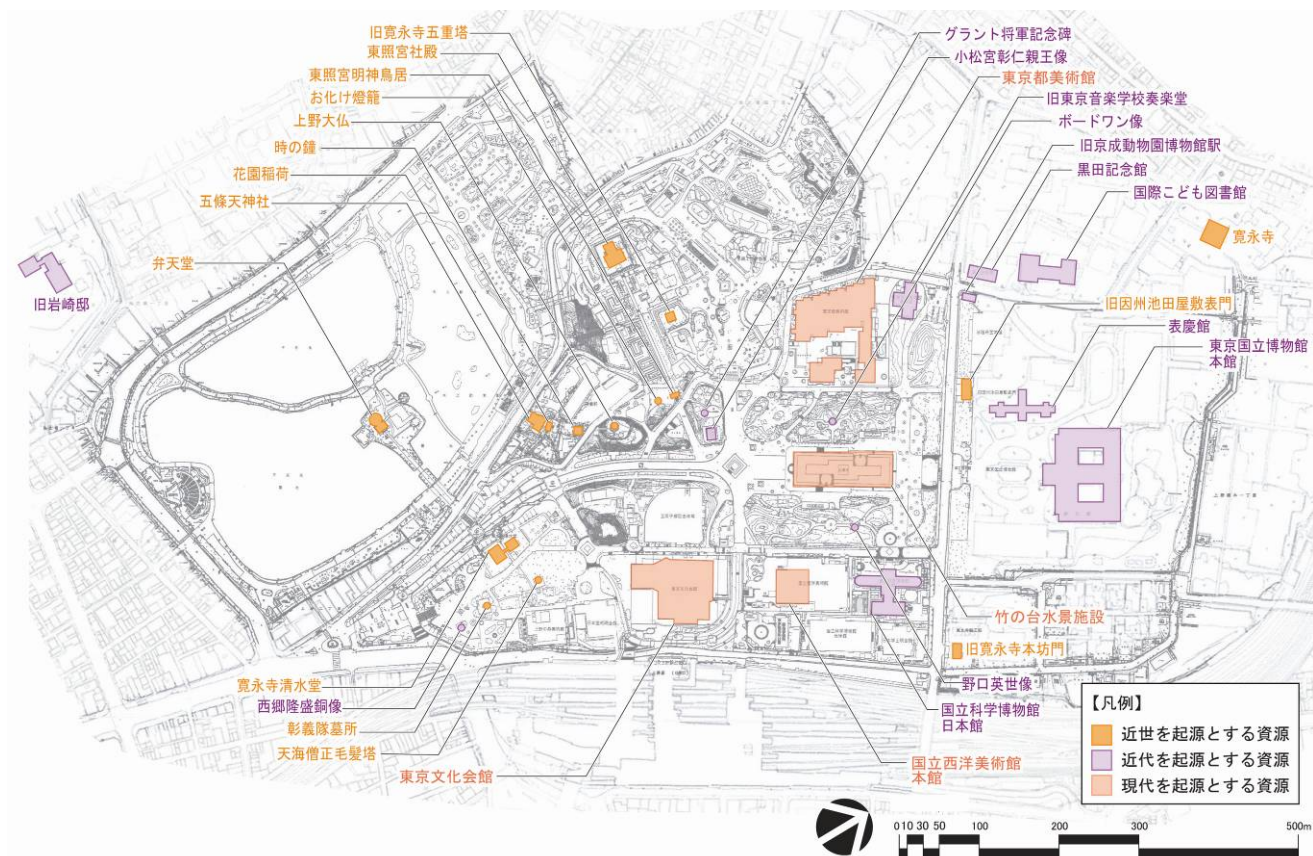


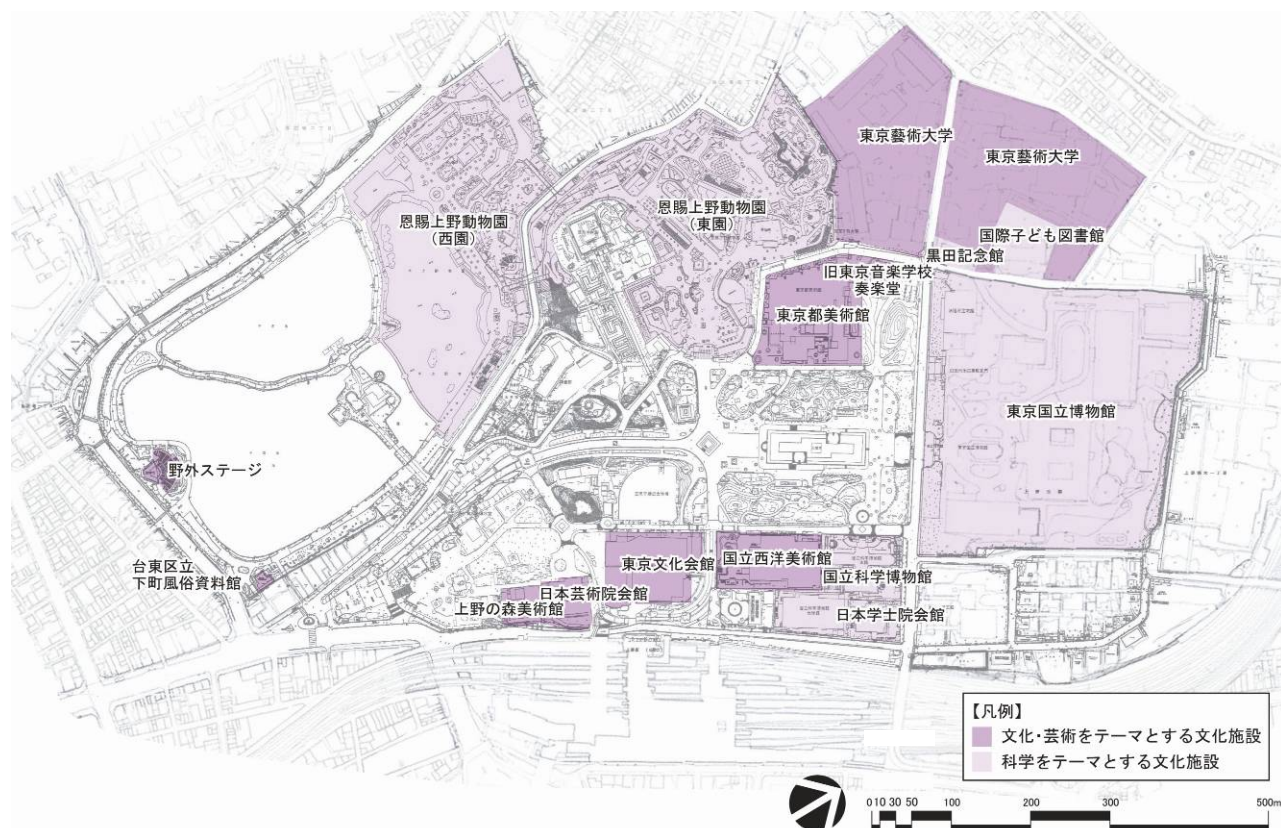
図: 歴史的資源の分布

③文化施設等

上野恩賜公園には、近代以降に開催された博覧会を契機として、様々な文化施設（博物館、美術館等）がつくられ、上野恩賜公園は文化施設の集積地となっていった。現在の上野恩賜公園及び周辺地域における文化施設の分布状況は以下のとおりである。

表：上野恩賜公園及び周辺に分布する主な文化施設

文化施設名	概要
上野恩賜公園内〔都市計画公園内を含む〕	
東京国立博物館	上野の山にある建物の中で最大の規模を誇る。現在約 9 万件の考古遺物、美術工芸品が所蔵されており、本館、表慶館、東洋館、法隆寺宝物館、平成館において公開している。
国立科学博物館	明治 10 年に開館。日本で最も歴史のある博物館のひとつであり、国立の唯一の総合博物館。自然史及び科学技術史研究に関する世界の中心拠点として活動。
国立西洋美術館	松方コレクションを基礎に、西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供する美術館。昭和 34 年 4 月に発足。
恩賜上野動物園	明治 15 年に日本で最初の動物園として誕生した動物園。総面積は約 14ha、入園者数は年間約 350 万人。
東京都美術館	大正 15 年に開館。昭和 50 年に現在の新館に改築。施設や設備の老朽化のため、平成 22～23 年度の 2 年間、全面休館し、平成 24 年リニューアル開館。
東京文化会館	昭和 36 年 4 月に設置。音楽、歌劇、舞踊のための大ホールと、小編成の演奏会のための小ホール等の施設がある。
台東区立下町風俗資料館	江戸の風情をとどめる東京・下町の街並みの再現や、下町地域にゆかりの資料、生活道具や玩具等の展示を行っている。
上野の森美術館	（財）日本美術協会美術展示館の設備を一新して、昭和 47 年 4 月に開館。以来重要文化財の公開をはじめ国際展や多くの企画展を開催している。
公園周辺	
国際子ども図書館	日本初の国立の児童書専門図書館。内外の児童書や関連の研究書などを広範に収集・提供・蓄積等、子どもの読書に関わる活動を支援するナショナルセンター。
黒田記念館	洋画家黒田清輝の遺産と作品が国に寄贈されたことが契機となって建てられた施設。昭和 3 年に竣工。黒田清輝の芸術を顕彰するために油彩画、素描等を公開している。
東京藝術大学美術館	平成 11 年に開館。東京芸術大学の前身である東京美術学校以来のコレクションや歴代卒業生の作品などを収蔵展示している。



図：文化施設等の分布

④その他施設

1) 修景施設（水景施設）

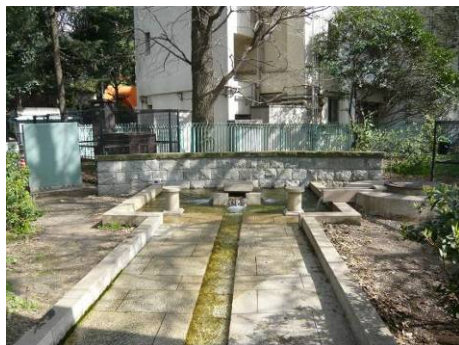
上野恩賜公園内には修景施設として、水景施設が設置されている。主な分布状況等は以下のとおりである。



竹の台の水景施設



袴腰の水景施設



不忍池畔(桜木亭脇)の水景施設



野外ステージの水景施設

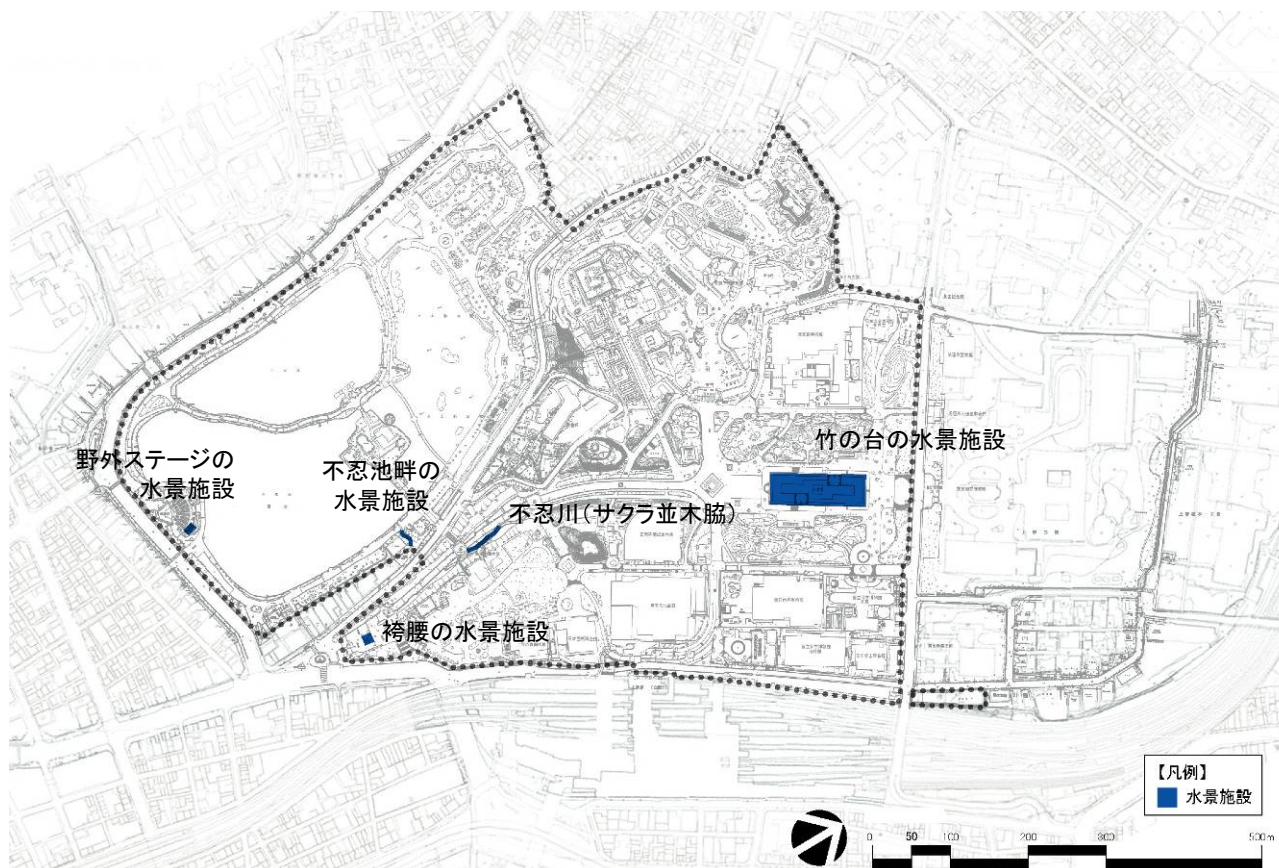


図:水景施設の分布

2) 遊戯施設

上野恩賜公園内における主な遊戯施設の分布状況は以下のとおりである。



こども遊園地



恩賜上野動物園正門前の遊具広場



不忍池畔の遊具広場



ボート場

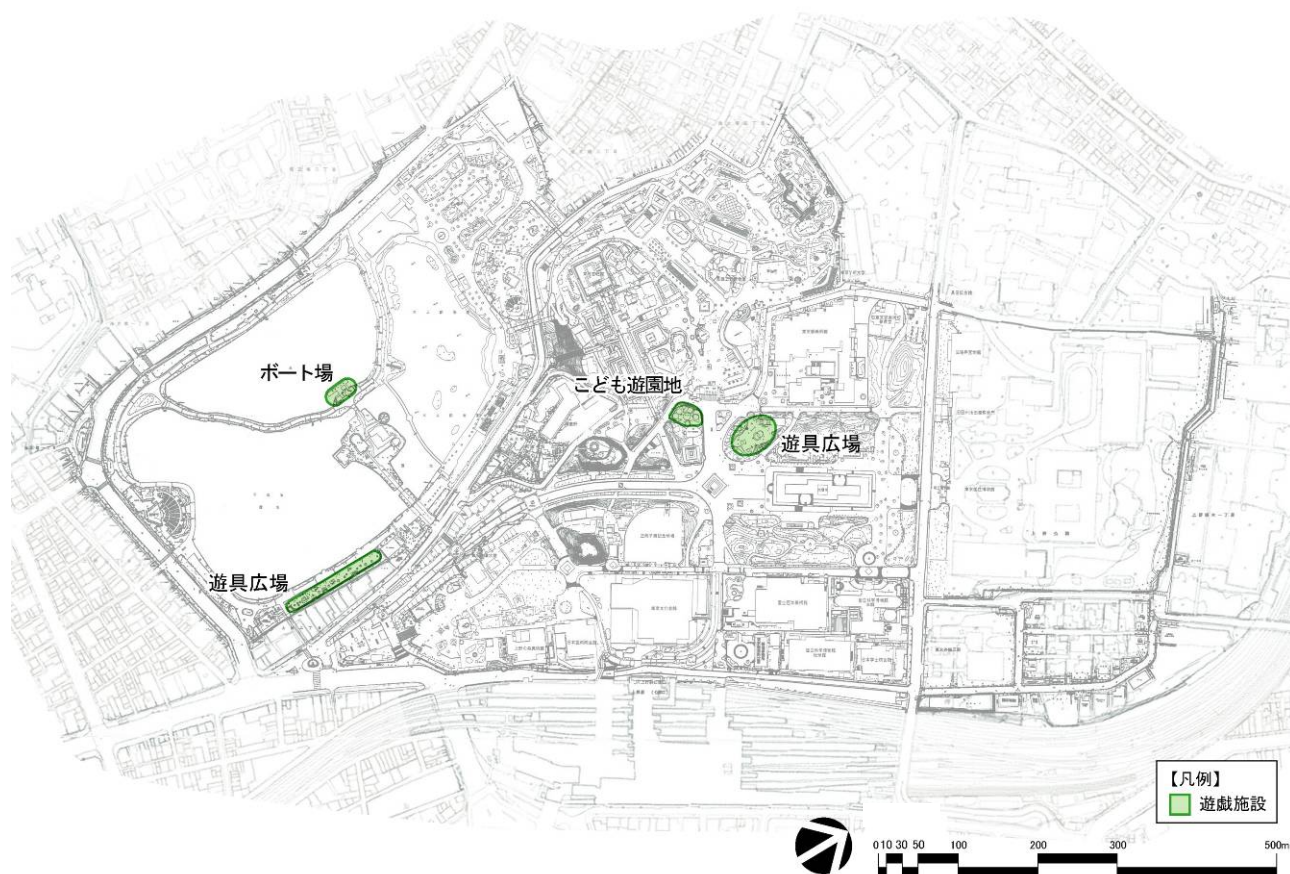


図:遊戯施設の分布

3) 運動施設

上野恩賜公園内における主な運動施設の分布状況は以下のとおりである。



野球場



図:運動施設の分布

4) 便益施設

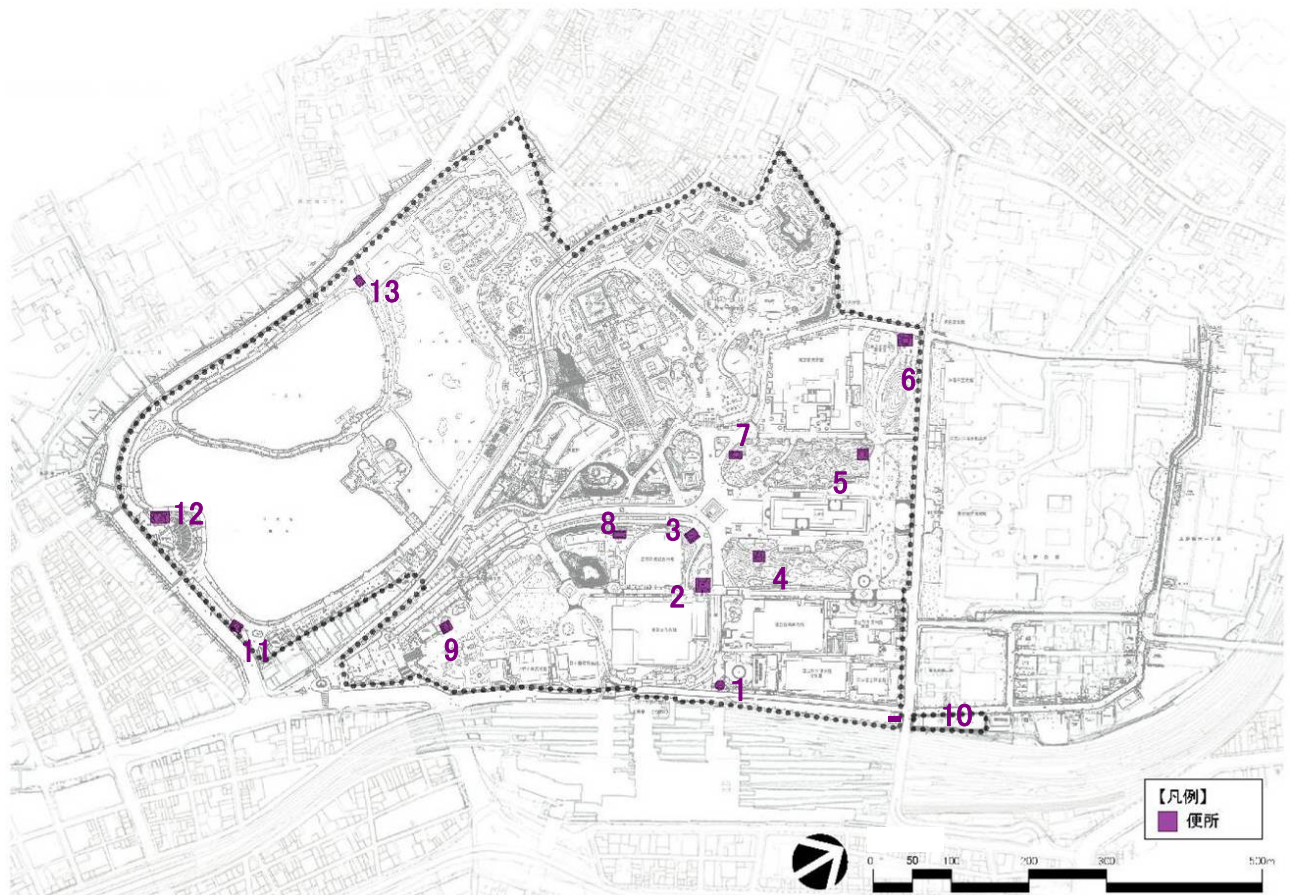
上野恩賜公園内における主な便益施設の分布状況は以下のとおりである。

a. 便所

現在、上野恩賜公園内には 13 箇所の常設便所（計 133 穴）が設置されている。

表：上野恩賜公園内の便所一覧

管理 番号	場所	建築年月日	穴数					構造
			男子		女子	多目的	計	
			小	大	大			
1	東部公園緑地事務所前	H1. 3. 31	5	3	4	—	12	鉄骨鉄筋コンクリート
2	文化会館前	H10. 3. 31	4	2	6	1	13	鉄筋コンクリート
3	交番前	H9. 3. 31	4	2	6	—	12	鉄骨鉄筋コンクリート
4	噴水南	S62. 2. 13	4	2	4	—	10	鉄骨鉄筋コンクリート
5	東京美術館前	S62. 2. 13	4	2	4	—	10	鉄筋コンクリート
6	旧奏楽堂前	H12. 3. 24	3	1	3	—	7	鉄筋コンクリート
7	児童遊園脇	H1. 3. 31	4	2	4	—	10	鉄筋コンクリート
8	摺鉢山脇	S61. 3. 20	4	2	4	—	10	鉄筋コンクリート
9	西郷銅像前	S61. 3. 20	4	2	4	—	10	鉄筋コンクリート
10	第一駐車場内	H6. 12. 20	3	1	4	—	8	プレハブ鉄骨
11	下町風俗資料館脇	H1. 3. 31	4	2	4	1	11	鉄筋コンクリート
12	水上音楽堂西	S63. 3. 31	4	2	4	—	10	鉄筋コンクリート
13	池之端交番前	H5. 3. 31	5	2	3	—	10	鉄筋コンクリート
合計			52	25	54	2	133	



図：便所の分布

b. 飲食施設・売店

上野恩賜公園内及び周辺地域の文化施設における飲食施設・売店の分布状況は以下のとおりである。

表：上野恩賜公園内及び隣接区域の飲食施設・売店一覧

場所	文化施設名称	名称	
都市計画 上野公園内	東京国立博物館	上野精養軒ラコール	
		ホテルオークラガーデンテラス	
	国立科学博物館	上野精養軒ムーセイオン	
		カフェ	
		ラウンジ	
	国立西洋美術館	すいれん	
	東京都美術館	上野精養軒ラ・ミュージズ	
	東京文化会館	上野精養軒フォレストィーユ	
		上野精養軒茶廊「響」	
	恩賜上野動物園	東園食堂	
		西園食堂	
		バードソング	
		東食売店	
		カフェカメレオン	
		小松売店	
上野恩賜公園内	上野恩賜公園内	東宝パーラー 動物園入口売店	
		桜木亭 本店	
		桜木亭 出店場(パンダ焼)	
		新鷺亭 本店	
		新鷺亭 出店場	
		韻松亭 本店	
	上野精養軒	カフェラン ランドーレ	
		グリルフクシマ	
	バンブーガーデン	音音	
		土古里	
		過門香	
	グリーンパーク	中国料理 旦妃楼飯店	
		熊本・馬しゃぶ料理 天国	
地域周辺	グリーンサロン		
	東京藝術大学美術館	カフェテリア	
	国際子ども図書館	カフェテリア	



図：飲食施設・売店等の分布

c. 駐車場

上野恩賜公園内、及び近接する周辺地域における主な駐車場、駐輪場の分布状況は以下のとおりである。

表：上野恩賜公園内及び近接する周辺地域における駐車場一覧

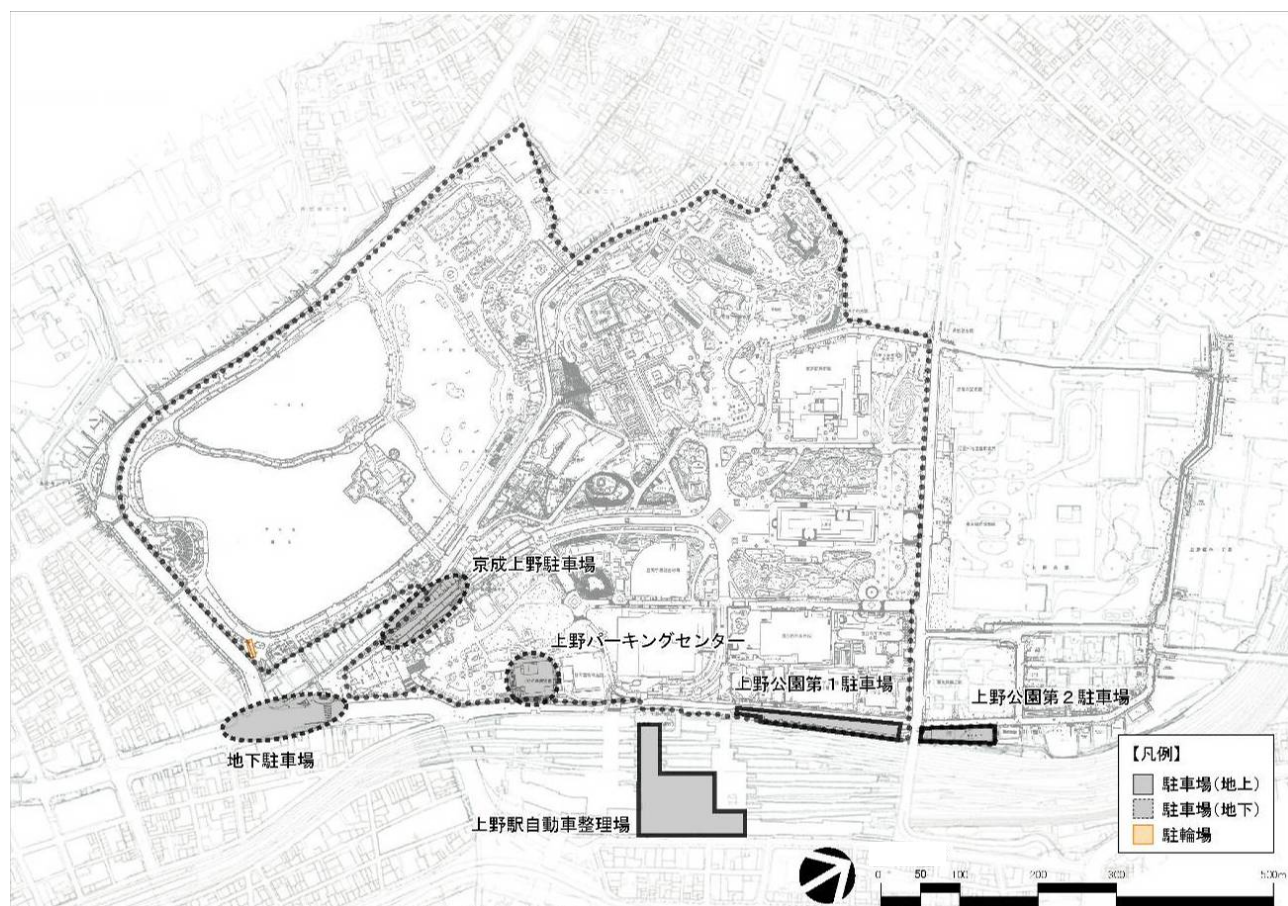
場所	名称	収容台数
上野恩賜公園内	上野公園第1駐車場	100 台
	上野公園第2駐車場	大型 24 台
	京成上野駐車場	120 台
周辺地域	上野駅自動車整理場	188 台
	上野パーキングセンター	400 台
	地下駐車場	300 台
合計		1,132 台 (うち大型 24 台)



上野公園第 1 駐車場



上野公園第 2 駐車場



図：駐車場・駐輪場の分布

d. 情報提供施設

上野恩賜公園内における主な情報提供施設の状況は以下のとおりである。

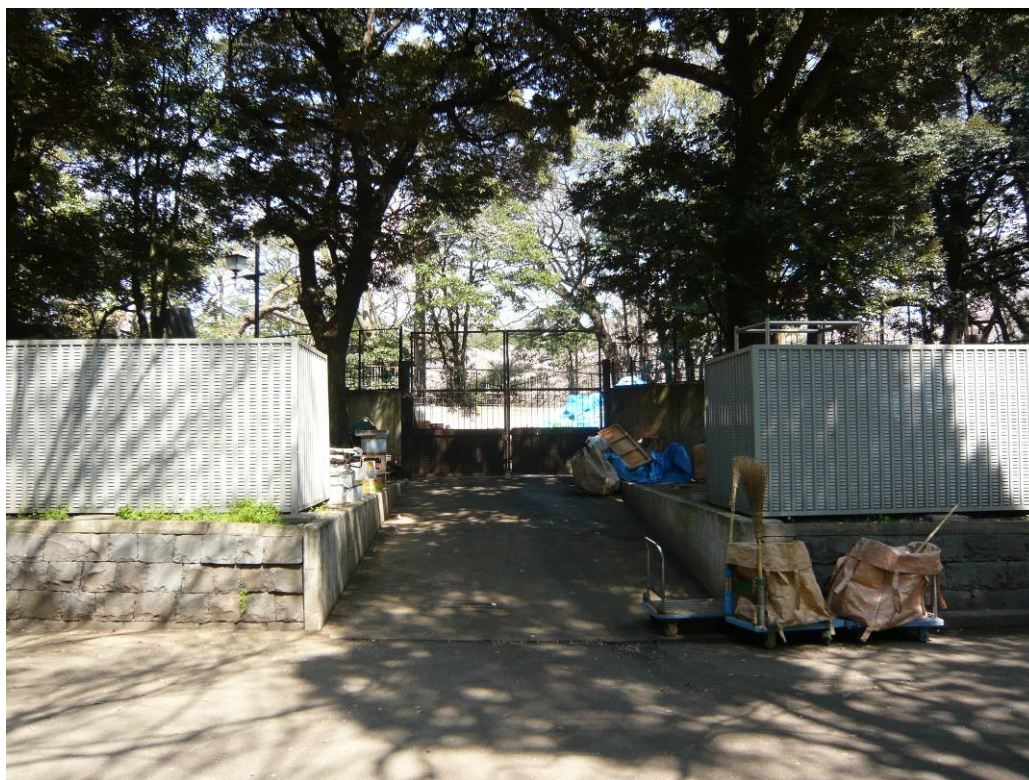
- ・ 総合案内サインは、主要な公園の入口や広場に配置されているため、配置上の大きな問題はないが、経年変化により、表示面の劣化が見られる。
- ・ 施設利用案内サインには、各文化施設の混雑状況など、来園者へのライブ情報の提供が求められている。
- ・ 上野恩賜公園内には、様々な種類のサインが乱立し、景観的な阻害要因ともなっている。特に、各文化施設等の個別情報サインには、立看板が用いられ、設置場所も様々であることから、来園者に煩雑な印象を与える等、公園の景観を阻害している。



図：情報提供施設の分布

5) 管理施設

上野恩賜公園内における主な管理施設の分布状況は以下のとおりである。



ゴミ集積所

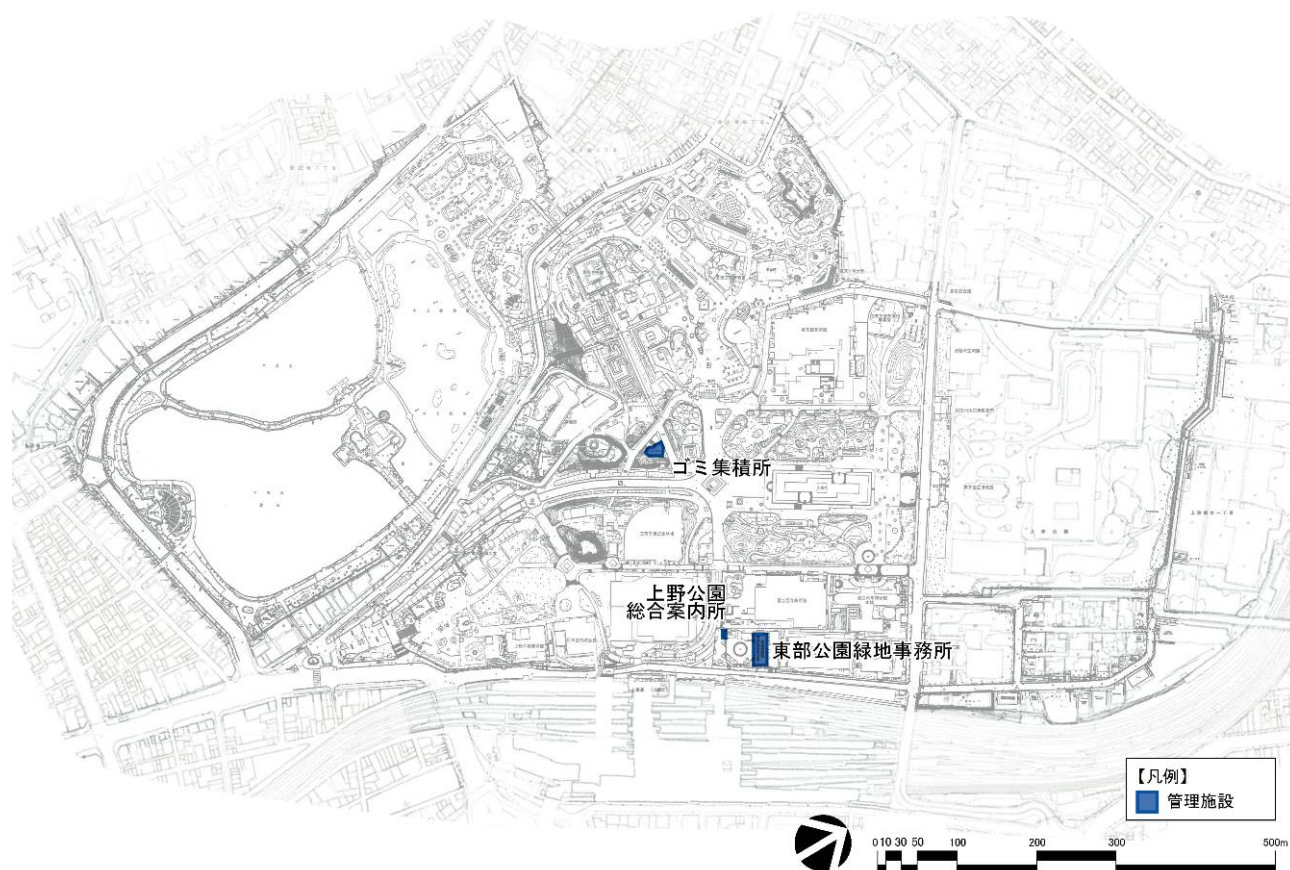


図: 管理施設の分布

6) 設備

上野恩賜公園内における主な電気、給水、排水設備の状況は以下のとおりである。

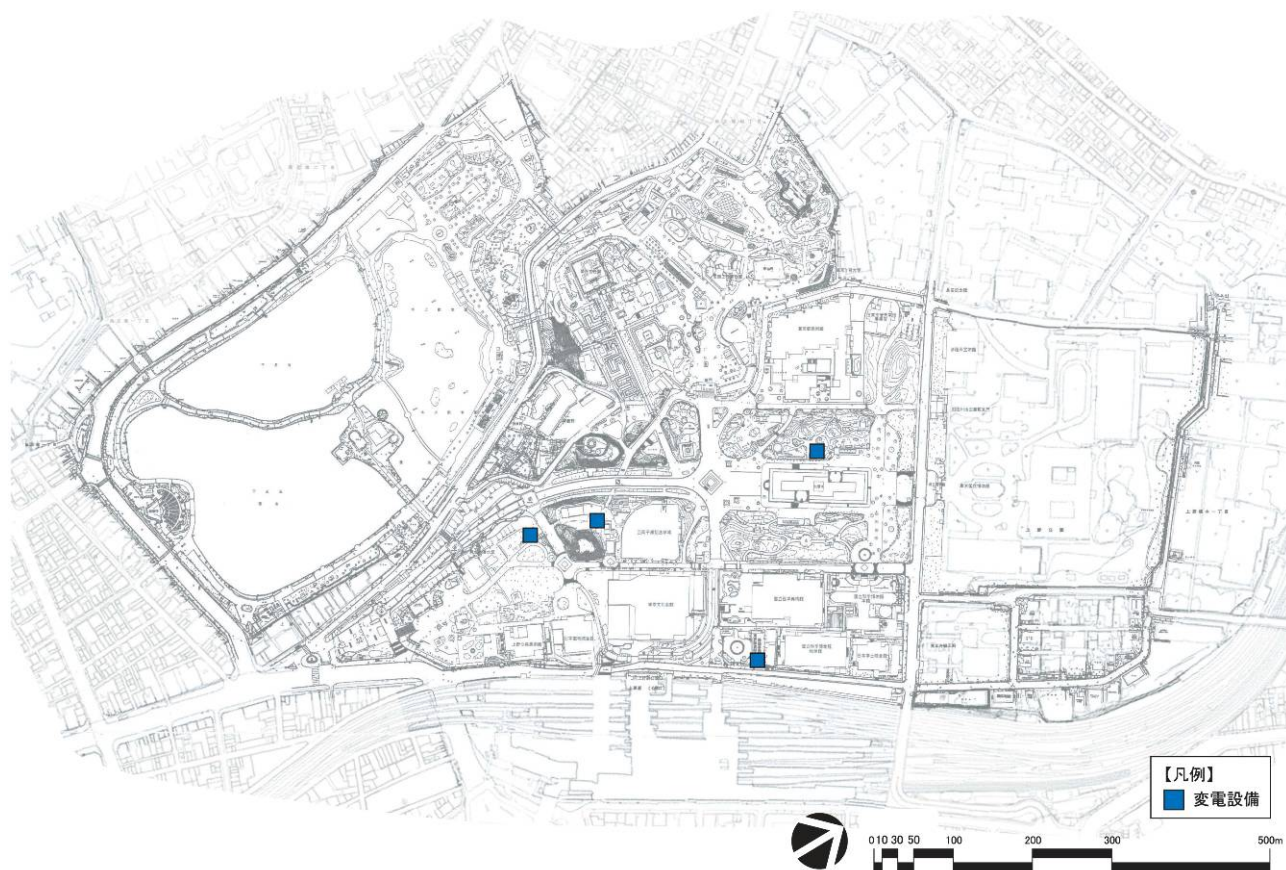
a. 電気設備

各所にて、低圧（100V・200V）及び高圧（6,000V）で受電している。

○上野の山	低圧（1Φ）	32 箇所
	低圧（3Φ）	5 箇所
	高圧	3 箇所
	変電設備	4 箇所
○不忍池	低圧（1Φ）	8 箇所
	低圧（3Φ）	8 箇所

b. 給水・排水設備

給水設備、排水設備は、東部公園緑地事務所、野外ステージ、便所等の建築物を建設する際に、個別に本管からの引き出しや接続を行っている。



図：電気設備の状況

(3) 社会的特性

①交通

上野公園に來園するための鉄道は、JR 線、京成本線、東京メトロ銀座線・千代田線、都営地下鉄大江戸線が挙げられる。最寄駅としては、上野公園に近接する JR 上野駅、京成上野駅で、その他に東京メトロ上野駅・湯島駅・上野広小路駅・根津駅、都営地下鉄上野御徒町駅等が挙げられる。

また、上野公園周辺には、台東区循環バス「めぐりん」が運行し、浅草駅、上野駅、台東区役所を起点に3路線あり、バス路線や鉄道との連絡強化を行っている。

②周边地域

上野公園の周辺地域について、広域にみると、東側には東京を代表する観光地である「浅草地域」、南側には近年再開発がされた「秋葉原地域」が位置する。

また、上野公園に近接する地域についてみると、上野公園以南には多くの商業施設が集積した「上野商店街」、上野公園以西の台地には我が国を代表する文教施設である「東京大学」、上野公園以北には「東京藝術大学」、下町情緒ある町並みを形成した「谷中・根津・千駄木地域」が隣接する。



図：上野公園周辺の鉄道路線と主な土地利用

③上野恩賜公園の開園区域

上野恩賜公園の開園区域は以下に示すとおりである。

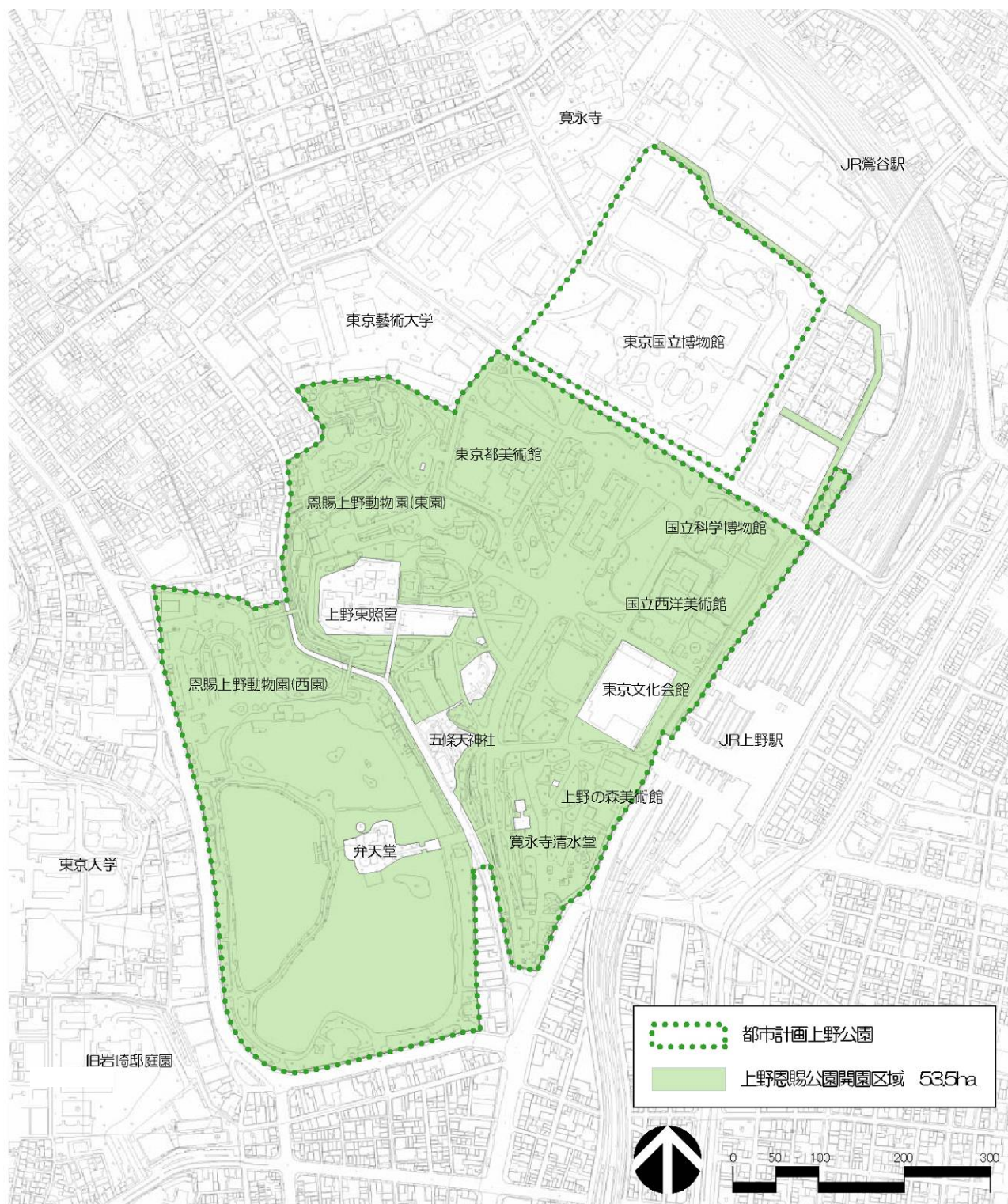
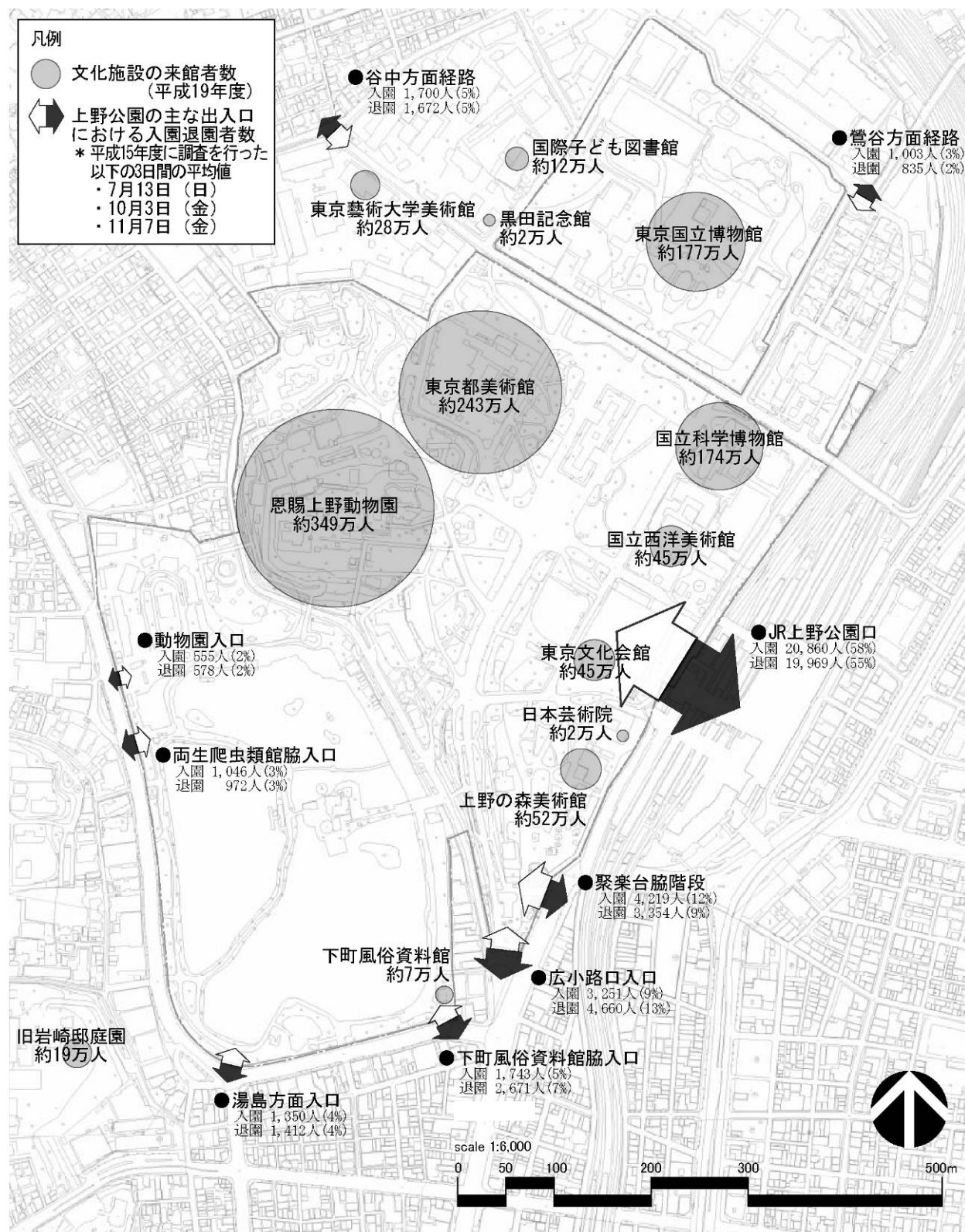


図: 上野恩賜公園の開園区域等の範囲

④利用状況

『上野地区観光まちづくり』推進に関する調査研究（東京都産業労働局、平成15年度）によると、上野公園の入退園者数は以下のとおり。また、平成19年度の各文化施設の来館者数（各文化施設調べ）は以下の図のとおりである。



図：上野公園の入退園者数、及び文化施設の主な来館者数

⑤催事・イベント等

上野公園で毎年定期的に行われているイベント（平成 20 年度に東京都東部公園緑地事務所で許認可を行ったもの）は以下のとおりであり、平成 20 年度には下記イベント以外にも約 20 件のイベントが開催されている。

表：上野公園における催事・イベント

催事名称	主催者	開催時期	開催場所	主な内容
東京のオペラの森 関連事業	生活文化局文化振興部長	2～3 月	JR 上野公園口周辺	
うえの桜まつり	上野観光連盟	2～4 月	不忍池周辺 中央広場	・ ぼんぼりによるソメイヨシノのライトアップ ・ 青空骨董市をはじめとした様々なイベント開催
サツキフェスティバル	(社)日本皐月協会	5 月	不忍池周辺	
うえの夏まつり	上野観光連盟	6～8 月	不忍池周辺等	・ 夏まつりパレード(中央通り) ・ みずどりのステージ ・ 弁天堂大道芸 ・ とうろう流し ・ 植木市・緑日・骨とう市 ・ 氷の彫刻 ・ 納涼ゆかた撮影会
ヘブンアーティスト TOKYO	生活文化局文化振興部長	10 月	袴腰～竹の台噴水付近	・ 東京都選定のヘブンアーティストによるパフォーマンス

〈うえの桜まつり〉



写真：ぼんぼりによるライトアップ



写真：骨董市の様子



写真：江戸芸能お花見舞台

〔出典〕上野商店街連合会ホームページ

〈うえの夏まつり〉



写真：ヘブンアーティストによる
パフォーマンス
(平成 19 年(2007)11 月撮影)

(左上)写真：みずどりのステージの様子
(左下)写真：夏まつりパレードの様子
(中央)写真：弁天堂大道芸の様子

〔出典〕上野商店街連合会ホームページ

(4) 景観

上野恩賜公園における主な地区の現在の景観は以下のとおりである。

①竹の台の景観



写真：現在の景観(平成 20 年(2008)11 月撮影)

東京国立博物館前に生育する樹木が繁茂し、本館の入口付近の一部のみが見える。

②寛永寺清水堂から不忍池の景観



写真：現在の景観(平成 19 年(2007)9 月撮影)

斜面地に生育する樹木の繁茂により不忍池を望むことはできない状況となっている。

③不忍池から上野の山への景観



写真：現在の景観（平成 19 年（2007）9 月撮影）

池には蓮が繁茂し、上野の山と周辺には、建物が目立っているが、都心に残された貴重な水と緑の景観が保たれている。

④袴腰の景観



写真：現在の景（平成 18 年（2006）4 月撮影）

袴腰は樹木が点在し、広場としてのまとまりに欠ける。

(5) 上野恩賜公園における現況特性と課題のまとめ

上野恩賜公園における現況特性と課題のまとめは、以下のとおりである。

① 自然的特性

- 起伏のある地形、広がりのある水面、多様なみどりにより豊かな自然的環境を形成
- 台地上の広がりのある平坦地

- ・ 地形・地質 : 台地と低地により構成される起伏のある地形
 <現状>
 ⇒ 高低差により上野の山と不忍池の円滑な移動が困難
- ・ 水系 : 広がりのある水面を有する不忍池
 <現状>
 ⇒ 蓮の密生や水質の悪化等により、池の魅力が希薄
- ・ 植生 : 沿海林の名残をとどめる崖線のタブ林
 台地を中心に形成されたまとまりのあるみどりと、四季を彩るみどり
 <現状>
 ⇒ 樹木の繁茂・密生により全体的に鬱蒼とした印象を形成

② 人文的特性

- 近世には寛永寺、近代には我が国を代表する博覧会場として利用
- 江戸・東京の歴史を物語る様々な歴史的記念物の集積
- 我が国最高峰の文化施設の集積

- ・ 歴史 : 近世には、幕府の菩提寺として寛永寺が創建
 近代には、我が国を代表する博覧会場として利用
- ・ 歴史的記念物 : 近世・江戸から近代・東京にかけての歴史を物語る記念物の集積
 世界遺産登録予定の国立西洋美術館本館
 <現状>
 ⇒ 歴史的な景観の損失、案内の不足等により、歴史を感じることが困難
 ⇒ 江戸・東京の下町文化を伝える活動が不十分
- ・ 文化施設 : 文化・芸術に関する我が国最高峰の文化施設の集積
 <現状>
 ⇒ 個々の文化施設が柵等で囲われる等、公園との一体感の欠如
 ⇒ 文化施設における展示・催し等の情報発信の不足

③社会的特性

● 広域及び多様な魅力を有する周辺地域からの良好なアクセスと、文化施設を中心とした利用

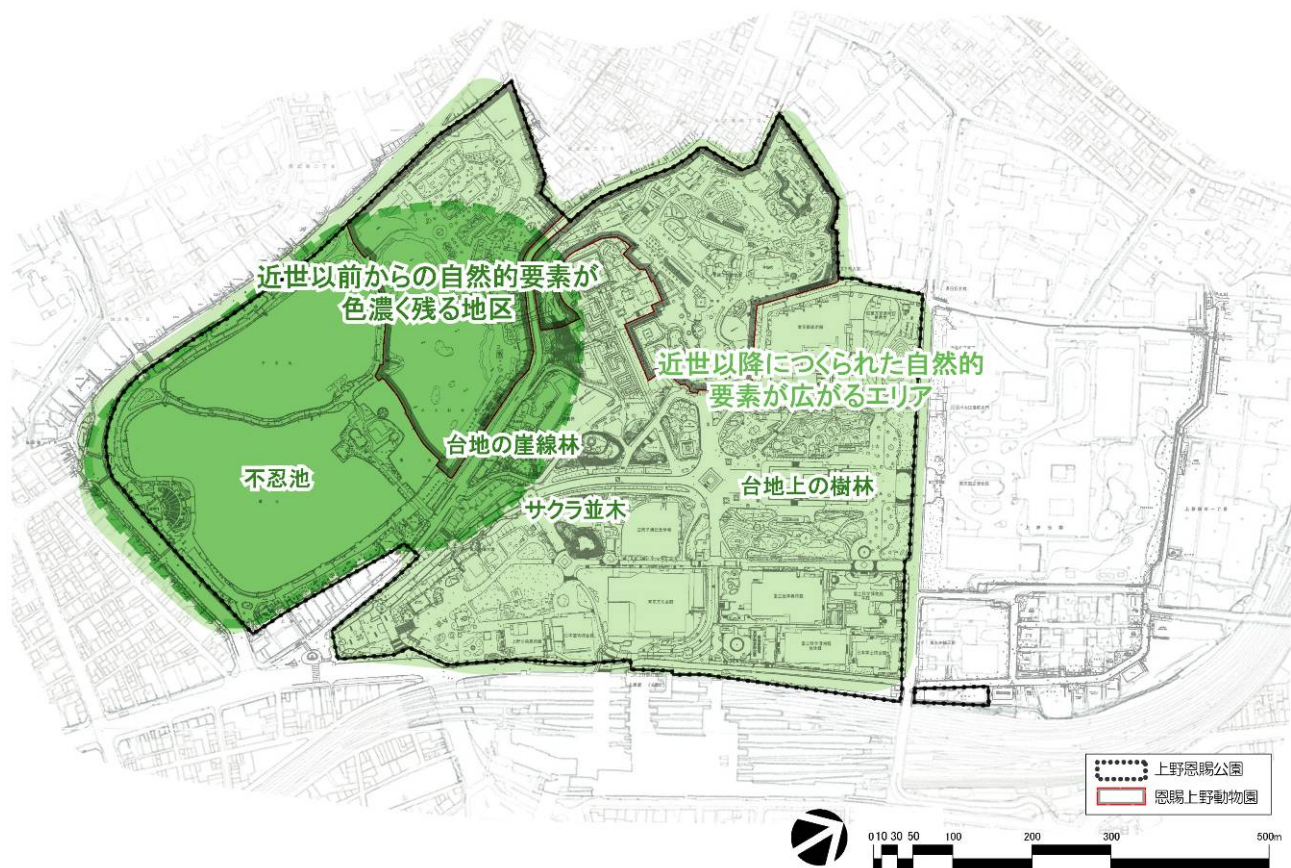
- ・ 交通 : 公園に直結する鉄道駅（JR 線、京成線等）
＜現状＞
⇒ 鉄道駅から公園への安全で快適なアプローチが困難
- ・ 周辺地域 : 公園に近接する賑わいある商業地域と寺町の風情を残すまち
東京国立博物館、東京藝術大学等の文化施設・教養施設の立地
- ・ 利用状況 : 多くの人が文化施設に来館
＜現状＞
⇒ 総合的な公園案内、周辺地域の案内等、効果的な情報提供の不足
⇒ みどりの中で、ゆったりと落ち着いた休憩や食事等が困難

④景観

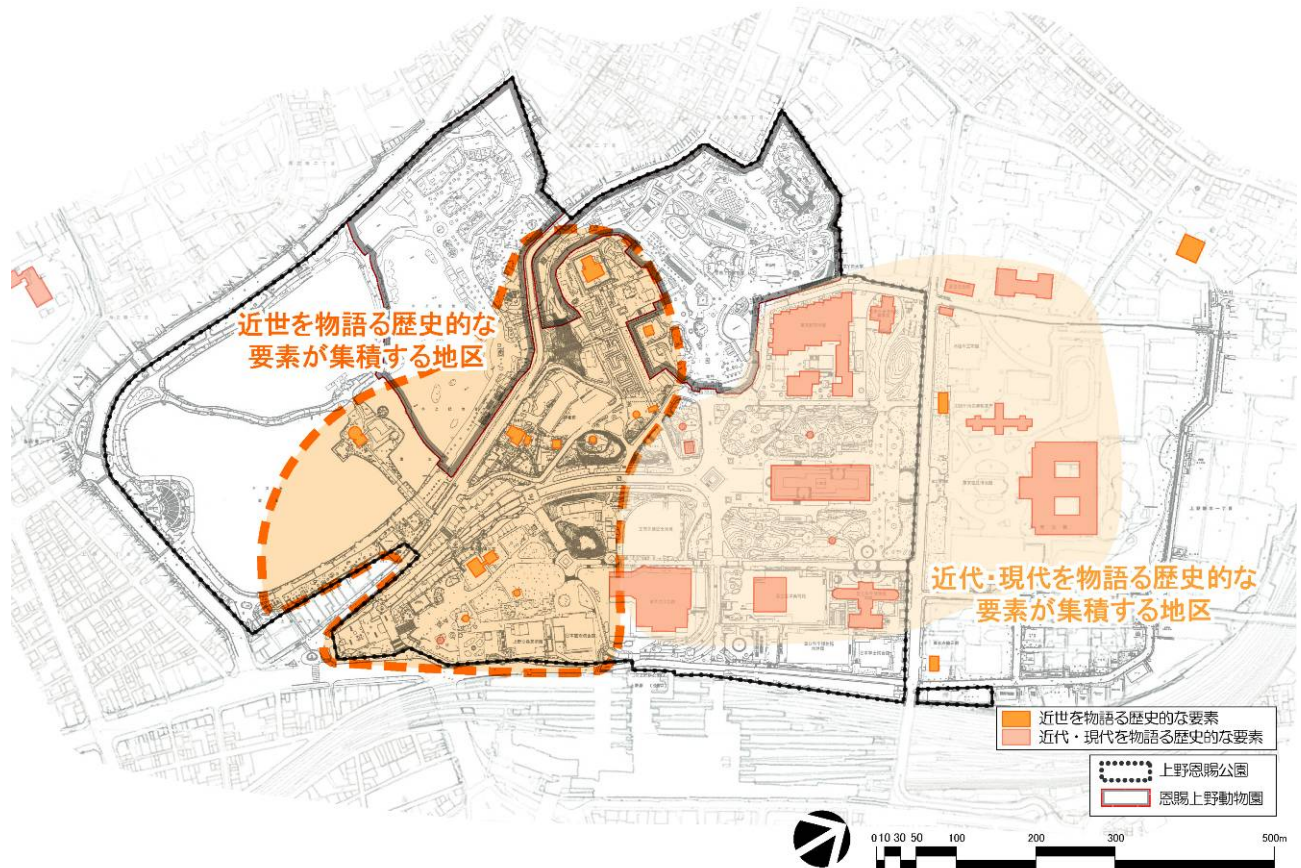
● 地形、水とみどり、歴史的記念物等の多様な景観

- ・ 公園内の景観 : 文化施設や歴史的記念物等の景観
＜現状＞
⇒ 樹木の繁茂・密生等により、文化施設や歴史的記念物への見通しが得られない

多くの人々に親しまれていた上野の山から不忍池、及び不忍池から上野の山への眺望
＜現状＞
⇒ 歴史的に親しまれていた景観（寛永寺清水堂から弁天堂・不忍池等）の喪失
- ・ 周辺からの景観 : 地域のランドマークとなる水とみどりの景観
＜現状＞
⇒ 周辺地域から、上野の山や不忍池への眺望が得られない



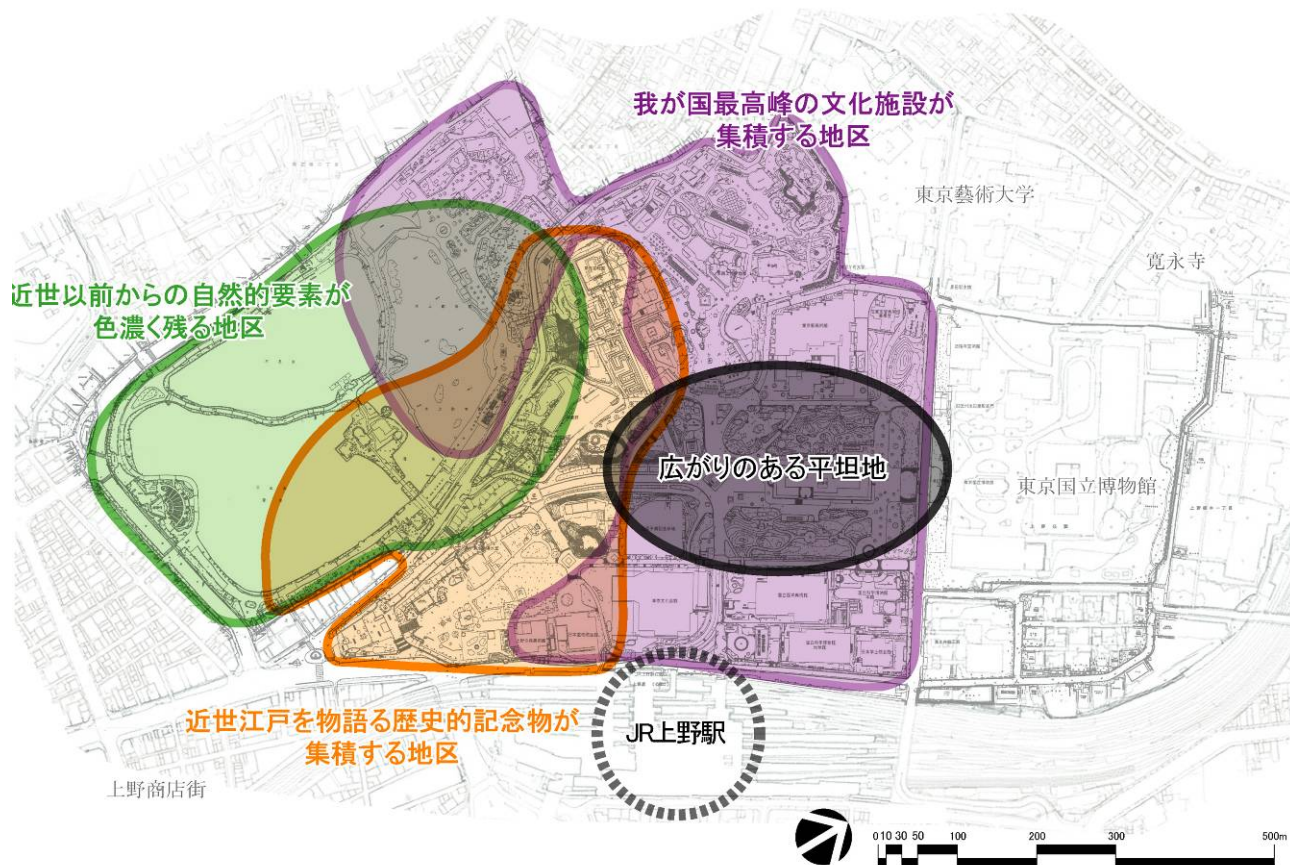
図：自然的特性のまとめ



図：人文的特性のまとめ（歴史資源に係るもの）



図：人文的特性のまとめ（文化施設に係るもの）



図：現況特性のまとめ

